

和太鼓部「唯風(いふう)」活動報告 2016年12月~2017年3月

(最近のものから遡っていく形で載せています)

和太鼓フェスタ 3月5日(日)

第13回和太鼓フェスタが例年と同じく、高槻現代劇場で行われました。

今年は東日本大震災から6年目にあたり、復興祈願をテーマとしました。

ゲストは、岩手県陸前高田の氷上太鼓さん。陸前高田は太鼓の町として知られ、全国太鼓フェスティバルが行われてきた本場ですが、震災によって、チームの方が多数犠牲となられ、町も地震と津波の被害によって多くの尊い命が失われました。そんな中、「奇跡の一本松」は、枯れはしたものの、姿をとどめ、今も皆さまの支えとなっているということです。

実行委員会では、最後のフィナーレで、御地の七夕まつりばやしを合同演奏することを決めました。お互いのスケジュールもあり、事前の練習は一緒にはできなかったのですが、高槻の各チームはそれぞれ、楽譜と映像をもとに練習をし、七夕まつりばやしにちなんだ「まとい」を作るなどして準備を重ねました。

本番では、各チーム特色ある演奏を披露し、トリの氷上太鼓さんの出番では、圧倒的な音に心打たれる思いでした。そして、フィナーレで会場に舞ったとりどりのまといは美しく、祈りの心と命のきらめきを感じさせるものだったと思います。

なお、会場では多数のお客さまからご寄付を頂き、高槻市社会福祉協議会を通じて、日本赤十字へ復興支援のために寄付させて頂きましたことを、本校からもご報告し、お礼申し上げます。

本校は、拙いながら部長が実行委員長をつとめさせて頂きました。他の部員も、まといをつくるために花びらをひとつひとつ手で折り、御地のまつりばやしを演奏することで思いをはせ、ご寄付をよびかける中で観客のみなさまの温かい思いにふれました。ほんのわずかですが、復興のお役に立てたことを生徒一人ひとりがしみじみと感じ、得がたい体験をさせて頂きました。

あらためて、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、今なお道なかばの復興が、一日も早く成し遂げられますことを、そしてみなさまのおこころのやすからんことを念じます。

お世話になりましたスタッフの皆さま、ご来場いただいたお客様、ありがとうございました。





そして、私達にとっては、これで本当に三年生とのお別れとなります。こみあげるものがあり、頬をぬらしながら演奏した部員もありました。巣立っていく4人に、エールを送ります。4人を支え、快く部活に打ち込ませて下さった保護者の皆さまにも、深く感謝申し上げます。

芸文祭 1月29日(日)

ふれあい冬まつりから二週間おいて、芸文祭が東大阪市のサーティーホールにて開催されました。

昨年は、インフルエンザ罹患のため、涙を吞んで欠場。今年はなんとか出場が叶いました。とは言っても、本番の少し前から部員が一人、また一人とインフルエンザに倒れていき、嫌な予感が。幸いなことに本番までには皆回復することができました。そのような次第ですので、ベストコンディションにはほど遠い状態ではあったのですが、却って力が抜けた演奏ができたようです。



他のチームの演奏は、年々多彩なものに進化して、チームの特色がくっきりと現れ、新しい工夫や洗練が随処に光り、圧巻の舞台でした。まだご覧になっていない方も、ぜひ来年は足を運んで頂きたいと思います。(なお、新年度の会場はこちらから変更になるそうです。)

ふれあい冬まつり 1月14日(日)

1年の初め、高校生による、わくわくの企画「ふれあい冬まつり」。今年も参加させていただきました。

当日は小雪もちらつく厳しい寒さでしたが、ゆうあいセンターの内外にお店も出て、もちつきや、各



高校・団体の展示や即売など、楽しい企画がめじろ押しです。

四階にある広めの部屋を舞台に使用しますので、いわゆる大ホールとはキャパシティも異なりますが、何よりのポイントはお客さまとの距離の近さです。演奏に乗って体を動かして下さる方も多く、とてもアットホームな舞台を、今年も満喫させていただきました。

小倉留守家庭児童会主催公演 12月26日(火)

暮れも迫った冬の日、枚方市にある小倉小学校で、児童会主催による公演をさせていただきました。



そもそものきっかけは、スタッフの方が9月の本校文化祭で私達の演奏をご覧になったこと。ぜひ! とのお誘いを受け、

せいっぱい演奏させていただきました。

子どもさんたちはとても礼儀正しく、まっすぐに演奏を楽しんでくださり、その後

のふれあいタイムでは、きらきとした笑顔がとても嬉しかったです。「子どもさんに聞いてもらうと、心が洗われる気がする」と、3年生が言っていたのが印象に残っています。

スタッフの方からも、「青春のひたむきさに打たれました」と少し涙ぐみでの言葉を頂き、私達もとても満たされた思いで学校を後にしました。